

施設機能の考え方(案)

令和6年6月

「教育方針の基本的な考え方(案)」を踏まえ、これらを実現していくため、佐賀県立大学(仮称)の施設機能の考え方を整理した。

1 目指すところ

- 学生の主体的な学びを重視する
- カリキュラム内容や授業形態に合わせた弾力的な運用を可能とする
- 県全体を学びのフィールドとし、地域との接点を多く持つ

2 施設整備のコンセプト・方向性

(1) 教育

- ・ 学びを深め、刺激し合う場として、境界を明確にしない多目的オープンスペースを創設
- ・ カリキュラム内容、授業の規模にあわせた可変性(フレキシビリティ)を備えた教室配置

(2) 研究

- ・ 熱量の高い研究ができる環境整備
- ・ 教員同士、学生と教員とのコミュニケーション空間を創設

(3) 連携・つながり

- ・ 産学官連携の窓口、地域や企業と共有できる空間づくり
- ・ 学外に開かれたオープンスペースなど、街と大学がつながる空間づくり

(4) 立地・時期

- ・ キャンパス外に出ていく現場重視の授業形態が多いことを想定し、広大な面積を備えるのではなく、コンパクトなキャンパス
- ・ できるだけ早い開学を目指し、既存の建物、近隣の施設などを最大限活用した拠点
- ・ 佐賀大学、西九州大学と連携した教育環境を実現
- ・ 県内全域からの通学利便性を考慮
- ・ 県内各地で活動する学生のベースキャンプとなるような場所を複数確保